

♪ 326番

- 1 ひかりにあゆめよ、さらばふかき
みたまのまじわり たえずぞあらん。
- 2 ひかりにあゆめよ、さらばまたと
この世のけがれに そまずぞあらん。
- 3 ひかりにあゆめよ、さらばくらき
谷間をゆくとも、 やすくぞあらん。
- 4 ひかりにあゆめよ、さらば墓も
くちぎるさかえの 門とぞならん。
- 5 ひかりにあゆめよ、さらば消えぬ
ひかりのみかみは ころろにまさん。
アーメン

♪ 332番

- 1 主はいのちを あたえませり、
主は血しおを ながしませり。
その死によりてぞ われは生きぬ、
われ何をなして 主にむくいし。
- 2 主は御父の もとをはなれ、
わびしき世に 住みたまえり。
かくもわがために さかえをすつ、
われは主のために なにをすてし。
- 3 主はゆるしと いつくしみと、
すくいをもて くだりませり。
ゆたけきたまもの身にぞあまる、
ただ身とたまを 献げまつらん。
アーメン

♪ 541番

父、み子、みたまの おおみかみに、
ときわにたえせず みさかえあれ。
アーメン

※ 2019年度同窓会総会のお知らせ ※

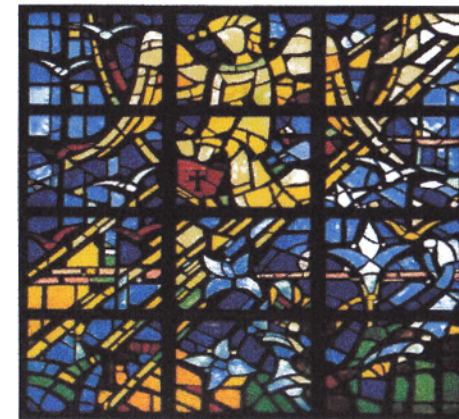
- ・日 時 2019年5月11日(土) 受付10時00分 10時30分より15時30分
- ・場 所 シーモールパレス(下関駅)
- ・会 費 3500円 振替用紙でお申し込み下さい。
- ・プログラム I部 総会 10:30 ~ 12:30
II部 懇親会 13:00 ~ 15:00
・卒業生によるパフォーマンス
・コール梅光コーラス

18th BAIKO MEMORIAL DAY

2018(平成30)年度

7月4日(水) 14時30分~

下関市生涯学習プラザ(多目的ホール)
宙のホール



梅光学院同窓会

〒750-8511 下関市向洋町1-1-1

☎ 083-227-1111

プログラム

I. 礼拝と賛美

司会 浜谷 静枝
奏楽 田村 初音

前奏
Chapel Chant
讃美歌 ♪ 326番
聖書 コリント人への第Iの手紙 第13章4節~13節
祈禱 浜谷 静枝
讃美歌 ♪ 332番
お話 「忘れ得ぬ人々」 元梅光学院同窓会長 平良美代 (高5)
頌栄 ♪ 541番
後奏

- 10分間休憩 -

II. 合唱

コール梅光 指揮 澄川 孝子(高23)
伴奏 田村 初音(高61音)

曲

- ・讃美歌 II 34番 (佐藤泰正先生訳詞)
- ・私たちのしていることは 鈴木憲夫
(マザー・テレサの言葉による) 構成・作曲
- ・レクイエム ガブリエル・フォーレ
ピエ・イエズ(やさしいイエズ)
サンクトゥス(感謝の讃歌)

† Baiko Chapel Chant †

The Lord is in His holy temple,
The Lord is in His holy temple,
Let all the earth keep silence,
Let all the earth keep silence,
Before Him!
Keep silence,
Keep silence,
Before Him!

コリント人への第Iの手紙 第13章4節~13節

- 愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむことをしない。
愛は高ぶらない、誇らない、
- 不作法をしない。自分の利益を求めない、
いらただない、恨みをいだかない。
- 不義を喜ばないで真理を喜ぶ。
- そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、
すべてを耐える。
- 愛はいつまでも絶えることがない。しかし預言はすたれ、異言はやみ、
知識はすたれるであろう。
- なぜなら、わたしたちの知るところは一部分であり、預言するところも
一部分にすぎない。
- 全きものが来る時には、部分的なものはすたれる。
- わたしたちが幼な子であった時には、幼な子らしく語り、幼な子らしく感じ、
また、幼な子らしく考えていた。しかし、おとなとなった今は、幼な子らしいことを
捨ててしまった。
- わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、
顔と顔を合わせて、見るであろう。わたしの知るところは、今は一部分にすぎない。
しかしその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。
- このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。
このうちで最も大いなるものは、愛である。

讃美歌 II 34番 (佐藤泰正先生訳詞)

- | | | | | | |
|---|----------------------|--------------------|---|----------------------|--------------------|
| 1 | みたまのかよえる
せいなるひかりと | 主のみことば、
まことを放つ。 | 4 | 暗き世をてらす
つきざるめぐみを | かみの知恵の
とわにたたえん。 |
| 2 | さかえにかがやく
みいつは日のごと | かみのふみ、
代々をてらす。 | 5 | いざいざわがたま
さかえのあさまで | 主のみあとを
いさみたどらん。 |
| 3 | みめぐみあまねき
よろずのたみらの | 真理の太陽は
上にのぼる。 | | | |